

議事録

会議の名称	令和2年度第2回西東京市総合教育会議
開催日時	令和2年10月30日（金） 午前10時00分から午前11時35分まで
開催場所	西東京市役所 田無庁舎4階 第1・2委員会室
出席者	丸山市長、木村教育長、米森教育長職務代理者、後藤教育委員会委員、山田教育委員会委員、服部教育委員会委員、今井教育委員会委員 （事務局） 池澤副市長、保谷企画部長、栗田企画部参与兼企画政策課長、小倉企画政策課企画政策担当主任、水谷企画政策課企画政策担当主任、佐藤ささえあい・健康づくり担当部長、五十嵐健康福祉部副参与兼健康課長、古厩子育て支援部長、清水子育て支援部副参与兼子育て支援課長、岡田子育て支援部副参与、後藤児童青少年課長、八矢子ども家庭支援センター長、飯島教育部長、森谷教育部特命担当部長、掛谷教育企画課長、工藤教育企画課課長補佐、名古屋教育部主幹、大谷学務課長、山縣教育指導課長、荒木統括指導主事、宮崎教育支援課長、和田社会教育課長、高田公民館長、中川図書館長 （傍聴人） 3人
議題	1 令和2年度の取組について （1）いじめ・虐待の対策 （2）切れ目のない支援の充実 （3）子どもの居場所の充実 2 西東京市学校施設適正規模・適正配置について 3 その他
会議資料の名称	資料1 小・中学校いじめ・体罰の状況と教育委員会の対応（令和元年度）（教育指導課） 資料2 虐待通報件数について（令和元年度）（子ども家庭支援センター） 資料3 西東京市児童発達支援 ステップアッププラン（令和2～4年度）《概要版》（健康課） 資料4 西東京市子どもの権利擁護委員 令和元（2019）年度活動報告（子育て支援課） 資料5 児童館における開館等対応状況（児童青少年課） 資料6 教育委員会における「子どもの居場所」に係る事業について（社会教育課・公民館・図書館） 資料7 子ども食堂の現状及び支援の概要について（子育て支援課） 資料8 西東京市学校施設適正規模・適正配置について（教育企画課） 資料9 令和3年度の教育に関する重点施策について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
○発言者名： 発言内容 <開会>	

○市長：

ただいまから、令和2年度第2回西東京市総合教育会議を開会します。

本日の議題は、「令和2年度の取組について」、「西東京市学校施設適正規模・適正配置について」、「その他」の3議題です。

○市長：

本日の会議は、西東京市総合教育会議会議規則に基づき公開します。傍聴は、西東京市総合教育会議傍聴要領に基づき10席までの傍聴を認めます。会議の議事録は、発言者の発言内容ごとの要点記録とします。御異議ございませんか。

(異議なし)

○市長：

傍聴の申出があったため、傍聴希望者の入場を許可します。

○市長：

まず、会議開催に当たって挨拶を申し上げます。

本日の総合教育会議は、今年度第2回目の会議となります。新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言が解除されたことを受け、6月に開催した第1回の会議では、今年度の教育に関する4つの重点施策(いじめ・虐待の対策、切れ目のない支援の充実、時代の変化に対応した学習環境等の整備、子どもの居場所の充実)を定めるとともに、新型コロナウイルスへの本市の取組、西東京市学校施設適正規模・適正配置について報告をしました。

本日は、重点施策に基づく今年度の取組の中間報告を行います。昨年度実績との比較などを通し、新しい生活様式に基づく各事業の取組について活発な意見交換を行えればと考えています。また、西東京市学校施設適正規模・適正配置(案)のパブリックコメントの実施状況等について報告を行います。

議題1 令和2年度の取組について

○市長：

議題1「令和2年度の取組について」を取上げます。

各担当課より重点施策に基づく今年度の取組について、説明をお願いします。

(事務局説明)

(1) いじめ・虐待の対策

<資料1>小・中学校いじめ・体罰の状況と教育委員会の対応(令和元年度)(教育指導課)

<資料2>虐待通報件数について(令和元年度)(子ども家庭支援センター)

(2) 切れ目のない支援の充実

<資料3>西東京市児童発達支援 ステップアッププラン(令和2~4年度)《概要版》(健康課)

<資料4>西東京市子どもの権利擁護委員 令和元(2019)年度活動報告(子育て支援課)

(3) 子どもの居場所の充実

<資料5>児童館における開館等対応状況(児童青少年課)

<資料6>教育委員会における「子どもの居場所」に係る事業について(社会教育課・公民館・図書館)

<資料7>子ども食堂の現状及び支援の概要について(子育て支援課)

○市長：

資料に基づき、事務局より説明がありました。

ここまでの説明内容に加え、教育委員会ではコロナ禍での学校再開以降、新しい生活様式に基

づく学校活動を継続させています。資料はありませんが、緊急事態宣言解除後の学校再開に向けた取組、また、学校再開以降のこれまでの状況について、事務局から報告をお願いします。

(事務局説明)

学校における再開前後の取組について (教育指導課)

学校再開前後の不登校児童等の様子について (教育支援課)

○市長：

重点施策に基づく取組内容に補足し、学校活動の状況について報告がありました。皆様からご意見やご質問等ございますか。

○米森教育長職務代理人：

新型コロナウイルスの感染拡大により市施策の進展に影響があったかと思うが、着手できなかったものについて、ウィズコロナの状況において今後の取組内容への工夫をお聞かせください。

○山縣教育指導課長：

学校行事において、3密対策を十分に行っています。今後も新型コロナウイルス感染症対策を行い、また校長会とも意見交換を行いながら、西東京市の地域実態に即した形で教育活動を進めてまいります。そして、コロナ禍で改めて重要性を再確認することとなった、心のケアや心の教育にも注力しなければならないと考えています。

○宮崎教育支援課長：

子ども家庭支援センターとの連携が強くなってきました。リストアップしてもらうことで、中学校において継続的に状況確認を行っていくことが定着しつつあり、その内容を子ども家庭支援センターと共有できていますので、今後も継続していきたいと考えています。

○八矢子ども家庭支援センター長：

子ども家庭支援センターは即時的な情報共有が重要となりますが、コロナ禍でケース会議の実施が困難であったことや家庭との面談機会の消失など、これまでの対応どおりにいかず苦慮する点がありました。関係機関との情報共有は、電話連絡で対応を図ってきました。方法に工夫を加え取り組んでいます。

○服部教育委員会委員：

市報で妊娠出産・子育てコンシェルジュ「いこいこ」による支援を進めていくという内容の記事を読み、すばらしい取組だと感じました。

○五十嵐健康福祉部副参与兼健康課長：

子育て世代包括支援センターについて、11月から開始します。特性として、西東京市は子育て世代が多いなか、関係機関等の地域基盤と連携を図ることなど、コンシェルジュ役を果たすことで包括的な支援を行っていきます。また、コンシェルジュ機能の側面的な結果として、地域支援にも貢献するものだと考えています。

○米森教育長職務代理人：

口頭で説明があった、令和2年度の現時点で体罰件数が0件ということで、非常に喜ばしいことですが、以前から導入を進めている部活動における部活動指導員や外部指導員への体罰防止に関する取組状況をお聞かせください。

○荒木統括指導主事：

教員を含め、すべての職員を対象に児童・生徒の名前を呼び捨てにしないなど、西東京市子ども条例や人権教育に基づいた「西東京あったか先生」の取組を進め、部活動だけでなく学校で体罰が発生しないように取り組んでいます。

○山田教育委員会委員：

ある自治体の学校では、一律であだ名の使用を禁じているという話があるが、西東京市の現状はいかがでしょうか。

また、西東京市子ども相談室「ほっとルーム」について、昨年度は面談での相談が多かったよ

うですが、「ほっとルーム」の所在地が住吉町ということで相談者の地域的な偏りは生じているかを確認させてください。

○山縣教育指導課長：

あだ名について、子どもたちの間での使用は禁じてはませんが、教員から子どもたちに向けたあだ名の使用はしないようにしています。

○岡田子育て支援部副参与：

相談者に対して住所確認を行っていませんが、相談者の話のなかで出てくる学校名から考えるに、地域的な偏りは生じていません。

○今井教育委員会委員：

意見として申し上げます。子どもたちのいじめ防止について、引き続き「西東京あったか先生」の取組を進めてもらいたいと思います。

○荒木統括指導主事：

いじめ防止については、都教育委員会で作成したチェックリストの活用等、子どもの変化に気づくことができるよう様々な取組を行っています。

○後藤教育委員会委員：

資料3「西東京市児童発達支援 ステップアッププラン（令和2～4年度）《概要版》（健康課）」における「6 本市における児童発達支援の課題」「⑤ 市内の支援体制を把握・調整する中核機能が不在」とありますが、課題解決した際の理想形をお伺いさせてください。

○五十嵐健康福祉部副参与兼健康課長：

資料記載の課題については、幼稚園や保育園などの各機関をつなぐコンシェルジュ機能の不足を認識したうえで、児童発達支援センターの設置で解消を図るものです。

○市長：

様々なご意見をいただきありがとうございました。

教育に関する重点施策は、本市が取り組むべき重要な課題であると認識しています。

今後も引き続き、教育委員会と連携して課題解決に向けた取組を進めていきます。

議題2 西東京市学校施設適正規模・適正配置について

○市長：

それでは、議題2「西東京市学校施設適正規模・適正配置について」を取上げます。

事務局より、報告を求めます。

(事務局説明)

<資料8>西東京市学校施設適正規模・適正配置について（教育企画課）

○市長：

事務局より西東京市学校施設適正規模・適正配置に関する取組の説明がありました。御質問等を求めます。

○米森教育長職務代理者：

コロナ禍のため、今後の状況変化に注視してもらいたいと思います。また、GIGAスクール構想のようにオンライン環境の整備は必須かと思いますが、その点についての学校施設適正規模・適正配置における検討状況をお聞かせください。

○山縣教育指導課長：

これまでのデジタル教材を活用した授業を、今後はより進展させていかなければならないと考えています。GIGAスクール構想の実施により、ハード面での環境整備が進みますが、ソフト面での対応も準備していきます。

○山田教育委員会委員：

意見を申し上げます。国の方向性として少人数学級の編成がありますが、教育上の効果等を鑑みると、可能な限り実施していただきたいと思います。

○掛谷教育企画課長：

前回会議での配布資料について、児童数等について数値の誤りがありました。そのことについて、この場で訂正をさせていただくとともに、お詫び申し上げます。

○市長：

市全体の公共施設配置等の検討状況について補足説明があれば、お願いします。

○栗田企画部参与兼企画政策課長：

公共施設等総合管理計画の見直しについて検討を行っています。現在はワークショップ等の開催を予定していますので、ある程度の方向性等がまとまった段階で総合教育会議でも報告を行います。

○市長：

様々なご意見をいただきありがとうございました。

学校施設の適正規模・適正配置は、公共施設のあり方を考えるうえで非常に重要な課題となっております。

今後も引き続き、教育委員会と連携して課題解決に向けた取組を進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

議題3 その他

○市長：

議題3「その他」です。事務局より連絡事項を求めます。

(事務局説明)

<資料9>令和3年度の教育に関する重点施策について

(事務局説明：会議資料と会議録の公表、次回開催予定について)

○市長：

以上で、本日の議題はすべて終了となります。

最後に、本日の内容を踏まえて、教育長、副市長から何かご意見はございますか。

○副市長：

教育委員会でのコロナ対応への感謝を述べるとともに、引き続きの取組をお願いします。また、GIGAスクールの取組を進めていただくとともに、情報モラル教育については丁寧に行ってもらいたいと考えています。

○教育長：

コロナ禍で感じるのは、子どもの適応力の高さです。それに合わせるように、学校でも新しい生活様式のなかで積極的に取り組んでいます。

また、コロナ禍で急遽進展があったGIGAスクールの実施に際しては、オンラインであろうとも対面教育が必要であると考えています。これまで培ってきた対面教育等の教育方法とオンライン教育とのベストミックスを図っていきます。

○市長：

本市の教育に関する重点施策について、教育委員会の皆様と十分に意見交換を重ねることができ、情報共有とともに方向性を確認することができました。

引き続き、市長部局と教育委員会がそれぞれの役割のもと、しっかりと連携しながら、取組を進めていきたいと思ひます。

以上をもつて、令和2年度第2回 西東京市総合教育会議を閉会します。

<閉会>